

略 歴 書

尾 池 和 夫

昭和15年5月31日生

(現在の役職等)

京都大学副学長

京都大学教授 (大学院理学研究科・理学部) (固体地球物理学、地震学)

京都大学理学博士

科学技術・学術審議会臨時委員

地震予知連絡会委員

国立極地研究所評議員

京都市防災会議専門委員

京都市都市計画審議会委員

京都市防災協会理事

など

日本地震学会会員

日本測地学会会員

自然災害学会会員

災害情報学会会員

俳人協会会員

氷室俳句会同人、氷室俳句会京都支部長

(略歴)

昭和15年(1940年) 5月、東京で生まれる。

昭和34年(1959年) 3月、私立土佐高等学校卒業

昭和38年(1963年) 3月、京都大学理学部地球物理学科卒業

昭和38年(1963年) 4月、京都大学防災研究所助手

昭和48年(1973年) 5月、同上助教授

昭和63年(1988年) 12月、京都大学理学部教授

平成7年(1995年) 4月、改組により京都大学大学院理学研究科教授

平成13年(2001年) 4月、京都大学副学長

昭和 60 年 (1985 年) 4 月～昭和 61 年 (1986 年) 3 月：地震学会委員長
平成 6 年 (1994 年) 11 月～平成 8 年 (1996 年) 11 月：京都大学評議員
平成 3 年 (1991 年) 10 月～平成 9 年 (1997 年) 10 月：日本学術会議地震学研究連絡委員会委員長
平成 7 年 (1995 年) 4 月～平成 9 年 (1997 年) 7 月：日本学術会議阪神・淡路大震災調査特別委員会委員
平成 9～10 年度 (1997～1998 年度)：京都大学大学院理学研究科長・京都大学理学部長・京都大学評議員
平成 8～10 年度 (1996～1998 年度)：京都府、京都市、大阪府、大阪市活断層調査委員会委員長
などを歴任

(現在の研究テーマ)

地震発生機構、地震テクトニクス、地震前兆現象

(主な著書)

NHKブックス「中国の地震予知」
東方書店 「中国の地震・日本の地震」(原題：中国と地震)
保育社 「地震の科学」(地震学会編)
海文堂 「アジアの変動帯」(藤田和夫編)
吉井書店 「インドネシアの旅ージャワとバリの火山を訪ねて」
古今書院 「地震発生のしくみと予知」
朝日文庫 「日本地震列島」
岩波書店 「活動期に入った地震列島」
宝塚出版 「俳景ー洛中洛外・地球科学と俳句の風景」
宝塚出版 「急性心筋梗塞からの生還」
ナツメ社 「図解雑学・地震」
宝塚出版 「続・俳景ー洛中洛外・地球科学と俳句の風景」
など

主な論文

K.Oike, T. Ogawa, *Electromagnetic radiations from shallow earthquakes observed in the LF range*, J. Geomag. Geoelectr., **38**, 1031-1040, 1986
K. Oike, K. Huzita, *Relation between characteristics of seismic activity and neotectonics in Honshu, Japan*, Tectonophysics, **148**, 115-130, 1988
T. Hori, K. Oike, *A physical mechanism for temporal variation in seismicity in Southwest Japan related to great interplate earthquakes along the Nantai trough*, Tectonophysics, **308**, 83-98, 1999